

データでわかる三重県の特徴

**注目!** 日照時間が長く、比較的温暖ではあるが、最高気温が低く、過ごしやすい天候

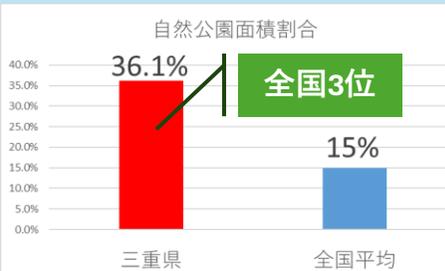
順位		日照時間 (年間)	順位		最高気温
1	埼玉県	2545.5	1	富山県	35.8
2	群馬県	2497.2	2	新潟県	35.6
3	山梨県	2484.1	3	京都府	35.5
4	静岡県	2459.3			
5	茨城県	2454.4	<b>42</b>	<b>三重県</b>	<b>32.6</b>
6	神奈川県	2410.0	45	高知県	32.2
7	愛知県	2378.4	46	宮崎県	32.2
<b>8</b>	<b>三重県</b>	<b>2373.3</b>	47	北海道	30.9



出典:総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

**注目!** 自然公園面積や周辺の都市公園の数が全国的に上位で豊かな環境での生活

自然公園面積割合



三重県 36.1% **全国3位**  
全国平均 15%

都市公園数 (可住地面積100k㎡あたり)



三重県 139.91  
全国平均 93

出典:総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

生活環境

**注目!** 持ち家比率や戸建て住宅比率が高く、ゆとりを持った住環境

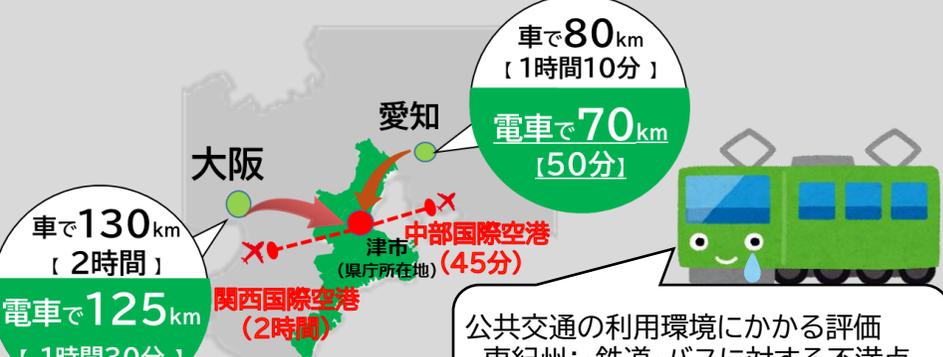
順位		持ち家比率	順位		一戸建住宅比率
1	秋田県	77.1	1	秋田県	79.4
2	山形県	75.0	2	山形県	76.1
3	富山県	74.9	3	青森県	75.3
4	新潟県	74.0	4	福井県	74.7
5	和歌山県	73.8	5	和歌山県	74.5
6	岐阜県	73.7			
7	福井県	73.5	9	群馬県	73.5
8	奈良県	73.2	10	長野県	73.4
<b>9</b>	<b>三重県</b>	<b>72.3</b>	<b>11</b>	<b>三重県</b>	<b>72.4</b>



(参考) 民間賃貸住宅の家賃は安く、全国39位

出典:総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

北中部は大都市圏と比較的近い一方、南部は交通の便が悪い等、地域差が大きい



- 大阪: 車で130km [2時間], 電車で125km [1時間30分]
- 愛知: 車で80km [1時間10分], 電車で70km [50分]
- 中部国際空港 (津市): 45分
- 関西国際空港 (2時間)

公共交通の利用環境にかかる評価  
東紀州: ・鉄道・バスに対する不満点「本数が少なく不便」70.7%

出典:「三重県地域公共交通計画」

# ジェンダーギャップ解消に向けた本県のめざす姿について

## データでわかる三重県の特徴

**注!** 収入が高く、生活に必要な支出が低い  
ため、ゆとりを持った生活が可能

○収入

	順位	三重県	全国平均
年間収入 (1世帯あたり)	10位	5,945千円	5,578千円
世帯主収入(年間収入) (1世帯あたり)	8位	2,930千円	2,856千円

○支出

	順位	三重県	全国平均
食糧費の割合(対消費支出) (二人以上の世帯)	44位	24.5%	27.8%
住居費の割合(対消費支出) (二人以上の世帯)	25位	6.1%	6.1%
光熱・水道費の割合(対消費支出) (二人以上の世帯)	47位	6.7%	8.1%

出典:総務省「統計でみる都道府県の姿2025」



**注!** 完全失業率が低く、消費支出に占める  
教養娯楽費の割合が高いなど、生活の質も豊か

順位		完全失業率※
1	島根県	2.7
2	福井県	2.9
3	富山県	3.1
4	三重県	3.1

※15歳以上の働く意欲のある人のうち、職がなく、求職活動をしている人の割合

順位		教養娯楽費割合 (対消費支出)
1	神奈川県	12.0
2	東京都	11.8
3	兵庫県	10.5
4	石川県	10.4
5	千葉県	10.3
6	愛知県	10.3
7	三重県	10.0

都市圏に引けをとらない!

出典:総務省「統計でみる都道府県の姿2025」



## 経済環境

**注!** 社長が日本一若い。また、事業後継者がいる割合も全国で突出して高い

順位		社長の年齢
1	秋田県	62.6歳
1	岩手県	62.6歳
3	高知県	62.5再

45	愛知県	59.7歳
45	沖縄県	59.7歳
47	三重県	59.6歳

若さ日本一 8年連続!

順位		後継者不足率
1	秋田県	72.3%
2	鳥取県	70.6%
3	島根県	66.5%

45	鹿児島県	41.3%
46	茨城県	41.0%
47	三重県	34.1%

40%未満は三重県だけ!

出典:帝国バンクデータ「全国「後継者不在率」動向調査(2024年)」「全国「社長年齢」分析調査(2024年)」



- ・国民年金被保険者第3号が全国的に上位
- ・県外の若い女性からは「就きたい仕事がない」

順位		国民年金被保険者数(第3号)千人あたり
1	奈良県	152.7
2	愛知県	147.3
3	兵庫県	145.1
4	滋賀県	141.0
5	三重県	139.5

配偶者に扶養されている方が多い

出典:総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

エンジニアとして成長するのであれば、都会の会社の方が合っていると感じる。  
(10代女性、大阪府在住)

将来的にUターンは考えているが、自分に合った仕事があるかが懸念点。  
(10代女性、東京都在住)



出典:三重県実施「転出者女性の転出理由等に関するヒアリング」より

## 転出した若者の思考別分類とターゲット層

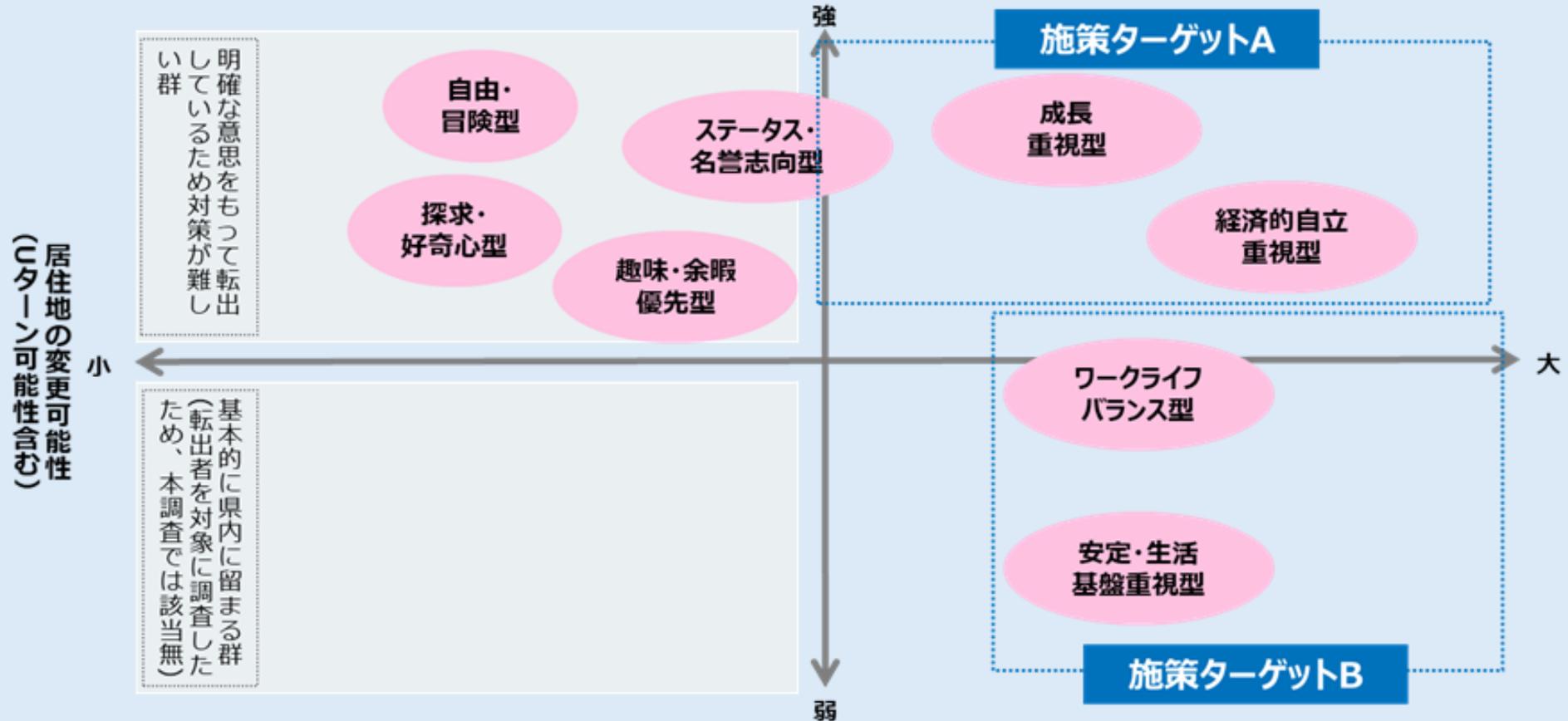
三重県では県外に転出した若者にヒアリング・アンケートを実施し、思考別に次のとおり分類

- ✓自由・冒険型
- ✓趣味・余暇優先型
- ✓ワークライフバランス型

- ✓探求・好奇心型
- ✓成長重視型
- ✓安定・生活基盤重視型

- ✓ステータス・名誉志向型
- ✓経済的自立重視型

自らの意志による県外転出の意向



# ジェンダーギャップ解消に向けた本県のめざす姿について

## 三重の強み

- ・自然や気候等が過ごしやすく、都市公園が多いなど、子育て世帯(特に幼少期)にやさしい生活環境
- ・収入が高く、生活コストが低いため、経済的に豊か。そのため、ゆとりをもった生活が可能
- ・企業のトップが若く、後継者もいるため、今後のさらなるイノベーションが期待

## 基本的な考え方

東京等の都市部とは異なる、三重の強みを最大限に生かしながら、三重で働くことに新しい価値を生み出す

### ①アンコンシャス・バイアスが解消された社会の実現

- ・固定的役割分担意識を取り除き、夫と妻が家事・育児と仕事をそれぞれのライフスタイルに合わせ、お互いがお互いを尊重し合いながら取り組む「三重県型の家族のあり方」
- ・周りの大人の働き方を見て、子どもの働き方の選択肢が広がる「次世代につなぐ持続的な働き方」

### ②多様な働き方が促進され、公私ともに充実した生活を営む

- ・若手のトップ層のリーダーシップによる横のつながりや異業種連携が促進され、イノベーションが促進する「若手の聖地」
- ・働きやすさ、働きがいとともに充実することで、自らが望むキャリア形成が促進される「令和スタイルの働き方」の実現
- ・ライフスタイルに合わせたフレキシブルな働き方が促進されることで、「経済的な自立」が実現
- ・私生活も仕事も満たされることにより、「仕事も家庭も趣味も妥協したくない人が集う場、三重」

### ③両立支援を支えるサービスが充実し、子育てしやすい環境のさらなる推進

- ・保育、子育て環境や仕事と家事の両立支援がさらに充実する「子育て立県みえ」
- ・都市部にはない、地域のつながりがあるからこそできる「社会が育む子どもの未来」
- ・地域により異なる多様な文化や自然が享受できる「自然と文化が調和する、先進育成県」